



# 三条南ロータリークラブ週報

## Sanjo Minami Rotary Club



2013.2.18

No.2066

No.24

No.24



先々週の出席率 会員48名中39名

出席率 91.30%

- 先週のメークアップ
- 2/9 地区諮問委員会・地区運営会議（中条）へ 馬場信彦君
  - 2/12 三条北RCへ（ゲストスピーカーとして） 坂井範夫君
  - 2/15 吉田RCへ 松崎孝史君 佐々木常行君
  - 2/16 ロータリー財団セミナー（長岡）へ 平松修之君 渡邊光郎君



### 会長挨拶

三条南ロータリークラブ 副会長

蒔澤喜一郎

皆さん、こんにちは。坂井会長が都合によりお休みですので代わってご挨拶を申し上げます。

2月16日、ロシアの中部 チェリャビンスク州に大きな隕石が落下し、多数の負傷者や多くの建物が損壊しました。お見舞い申し上げたいと思います。

災害はいつ発生するか予測は出来ません。日本では、約2年前の2011年3月11日、「東日本大震災」が発生しました。東北地方太平洋沖地震とそれに伴って発生した津波、その後の余震により甚大な被害を被ったことは記憶に新しく、原発の諸問題はまだまだ大きな影を残したままです。

災害について調べてみました。辞書によれば「地震・洪水などの自然のわざわい」「天災や戦争、火事、事故などによって受ける損害」「不時のわざわい、台風、地震、大雨などのアクシデント」「台風、地震、大雨などの不時のわざわい」とあります。また、インターネットで「災害-Wikipedia」を調べますと、「災害は、気象などの自然現象の変化、あるいは人為的な原因などによって、人命や社会生活に対する被害を生じる現象」とあります。自然災害の例として、気象現象、地質現象、生物、天文現象等があります。いずれの災害にしましても人的に守り得ません。災害を受けられました皆様様に、改めてお見舞いを申し上げたいと思います。

国際ロータリーでは2月は『世界理解月間』です。そして、2月23日が『ロータリー創立記念日』と『世界理解と平和の日』となっております。会報委員会からも4日の第一例会でお話がありましたが、“ロータリーの友”2月号横書きP6に「異文化との出会い」と題して、

‘2月は世界理解月間です。月間中、クラブは世界平和に不可欠な理解と親善を強調したクラブ・プログラムと活動を実施するよう要請されています’と記されています。

本日の野水国際奉仕委員長の卓話をご期待申し上げます。

### 四つのテスト

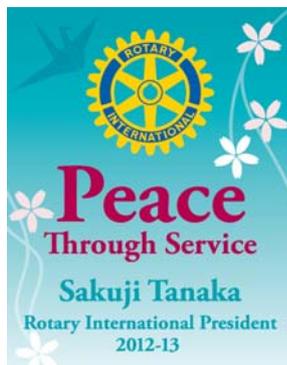
一言行はこれに照らしてからー

I 真実かどうか

II みんなに公平か

III 好意と友情を深めるか

IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 田中作次 [埼玉、八潮]

第2560地区ガバナー 鈴木重彦 [長岡]

第4分区ガバナー補佐 杉山太三郎 [巻]

会長 坂井範夫

幹事 丸山征夫

S A A 永桶俊一

事務局 〒955-8666 三条市旭町2-5-10

**三条信用金庫 本店内**

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp



丸山 征夫 幹事

●鈴木ガバナー事務所より「米山奨学期間修了者の終了式・歓送会」開催のご案内

<日時> 2013年3月2日(土) 11:30~15:00 <会場> ANAクラウンプラザホテル  
<出席対象者> 米山奨学生、カウンセラー、関係クラブ米山奨学委員長

●雪国魚沼RCより「創立50周年記念祝賀会」開催のご案内

<日時> 2013年4月14日(日) 14:30~17:30 <会場> ホテル坂戸城

●白根RCより「創立50周年記念式典」開催のご案内

<日時> 2013年5月11日(日) 13:00~18:00  
<会場> 記念式典・講演会: 白根学習館ラスパックホール 祝賀会: サルナート吉運堂  
<講演会> 新潟工科大学 副学長 原 利昭氏 「這ってでも生きようこの人生 大学教授からの提言」

●RI認証 ローターリー囲碁同好会より「第14回ロータリー国際囲碁大会」開催のご案内

<日時> 2013年4月12日(金) 14:00 開会式 13日(土) 18:00 表彰式、晩餐会  
<会場> 韓国大邱市 徳榮歯科病院ビル内大ホール  
<登録料> 14,000円(歓迎夕食会、晩餐会、競技中の飲食、賞品、同伴者への小旅行代等含む)  
※ 囲碁国際大会参加旅行・・・4月11日(木)~14日(日) 旅行代金 68,000円  
(東京・大阪・福岡・名古屋⇄釜山の航空運賃、釜山のホテル、バス代、観光費用、食事代、  
燃油サーチャージ、空港税を含む。ただし、大邱のホテル2泊は別料金、1泊約6,500円)

# ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

~ 2月18日 20,000円  
今年度累計 592,000円  
+600 パーツ ~

**草野君** 坂井会長がお休みです。私も欠席予定でしたが出席できることになりました。皆さんにご迷惑をおかけしましてすみませんでした。

**丸山(征)君** 昨日、一昨日と探していた車のキーが見つかりました。靴磨きの箱の中にあった。犯人は私じゃない!!

**馬場(信)君** 野水孝男さんの「世界理解月間」の卓話を期待しています。

**坪井君** 野水さん、卓話ご苦労様です。

**渡辺(俊)君** まだまだインフルエンザが流行っています。皆さん、気を付けてください。

**吉井君** 久しぶりの例会です。昨日は、東クラブの社会奉仕事業に参加してきました。市岡裕子さんの講演会で、なかなか感動の内容でした。

**田中君** 春よ来い 早く来い !

**野中君** 三寒四温とはよく言ったものです。

**安達君、荒澤君、佐藤(秀)君、佐藤(嘉)君、滝口君、田代君、銅冶君、野島君、野水君、渡邊(久)君** BOXに協力いたします。

**佐々木君** ボックスにご協力ありがとうございました。



「世界理解月間に際して」

国際奉仕委員会 野水 孝男 委員長



「世界理解月間」について私の考えを述べさせていただきます。  
特に日本人は話し合えば、相手を説得できると思っておる人が多いように思います。自分の子供でさえ説得することは大変なのに、ましてや他国の人々を説得し理解させることなどほとんど不可能に近いと思われます。  
日・中・韓の歴史の問題やイスラムのテロリストによる自爆問題など、いくら話し合っても理解しあうことはないように思われてなりません。私には「世界理解月間」の目的、行動がよく解りません。(私自身のロータリーに対しての勉強不足だと思いますが。)

ロータリーの地区協議会、青少年交換委員会に出席しますと、交換学生の素晴らしさを話しておられますが、送り出す側も、受け入れる側も大変なように思われます。日本では英語が公用語でないために、英語を話す人が大変少ないように思われます。また、高校では学習が英語でないので、相当に問題がありそうです。

最後になりますが、「世界理解月間」を通して日本人がもっと英語を勉強して、世界に自分の考えを発信したら、世界との考え方の違いが解り、理解が進むと思います。

(私は英語は話せません。生意気なことを言ってゴメン!!)



国際ロータリー・ニュース : 2013年 2月 5日

## 平和フォーラムでアウンサンスーチーさんに平和賞を授与

1月25～27日、ホノルル（米国ハワイ州）で開催されたロータリー世界平和フォーラムにて、ミャンマーの民主化運動指導者で、ノーベル平和賞受賞者のアウンサンスーチー氏が基調講演を行い、同氏に対し、平和で非暴力的な方法で民主主義を実現した長年の功績を称え、「ハワイ平和賞」が授与されました。

20年間の自宅軟禁の末に2010年11月に解放された同氏は昨年、ミャンマーで民主化を推進する野党のメンバーとして、連邦議会議員に選出されました。

基調講演の中で同氏は、絶対的な平和の達成は困難ではあるが、それを目指して進まなければならないとし、人権を保証するには民主的な体制が必要であると訴えました。「私たちが欲する平和とは、恒久的な平和です。若い人たちに平和な国家構築の仕事を持ってもらえるよう支援する必要があります。前に進むためには、若い人たちの力が不可欠です」と述べた同氏は、平和構築における若者の役割の重要性にも触れました。ホノルルでの平和フォーラムは、平和プロセスへの若者の参加に焦点を当てたものです。

### 若い人たちの参加

田中作次RI会長が今年度企画した3回の平和フォーラムの2回目となったホノルル平和フォーラム（1回目は昨年11月にベルリンで開催されました。3回目は、5月17～18日に広島で開催されます）には、1,800人以上のロータリアン、ロータリー学友、ロータリーの平和プログラムの支援者が集いました。

このフォーラムは、「平和にいたる緑の道」をテーマとし、平和推進における環境保全の重要性に焦点を当て、[平和宣言](#)も採択されました。

田中会長はフォーラムで次のように述べました。「ロータリーは教育、人道奉仕、若者とのつながりを通じて平和を構築しています。末永く続く平和を実現するためには、新世代の若者、その次の世代の若者に参加してもらい、ロータリーの平和構築活動を未来へ継承していけるよう彼らを支援する必要があります。健全な環境があってこそ、私たちは自分の可能性を最大限に生かすことができます。基本的ニーズが満たされれば、紛争の原因も少なくなります。紛争に資源を費やしていない人々や国は、その分みんなの利益になることに対して資源を利用できます」

ルイス V. ジアイ RI 元会長が招集者を務め、3回のフォーラムの開催地は田中会長が選びました。その理由として、ベルリン、ホノルル、広島はすべて、第二次世界大戦によって大きな被害を受けた場所であり、現在は、国家間の持続可能な平和の力を象徴しています。

「第二次世界大戦後に育った私は、平和の重要性を目の当たりにしました」と田中会長。「平和構築を実現するのは一生かかる仕事です。毎日、世界中の34,000のクラブが、支援を必要としている人たちにきれいな水、医療、教育、そして希望をもたらすことで、より平和な世界の実現に努めています」

### 本で平和を構築する

ロン・バートン RI 会長エレクトは、このフォーラムに対するコメントの中で、以前にテキサス州サンアントニオで参加した本の寄贈行事で、新しい本を手にした子どもたちを見た時の体験について触れました。「本を手渡すことは、その子どもに自分が大切な存在であると分かってもらうためであり、そのように直接、クラブや一人ひとりのロータリアンが手渡すというのがロータリーなりのやり方」とし、「どうすればより平和な世界を構築できるでしょうか。一人のロータリアンが一人の子どもに最初の本を手渡すこと。これこそその始まりです」

ロータリー・クラブは長年、飢餓、貧困、疾病、非識字など、紛争の原因となる問題に草の根レベルで取り組むことによって、平和の実現に尽力してきました。また、ロータリーは2002年からロータリー平和センター・プログラムを開始し、国際的に活躍できる平和構築者の育成を行っています。ロータリー・クラブは毎年、60名までの平和フェローを選考し、フェローは世界中のロータリー平和センターで平和と紛争解決の分野における修士号または専門能力開発修了証の取得を目指しています。



ホノルル平和フォーラム（米国ハワイ州）で基調講演を行うアウンサンスーチー氏  
写真下：  
友愛の家で展示された折鶴

